

平成27年度

甲斐市立竜王小学校 自己評価書（前期）

平成27年7月17日（金）作成

学校長 奥山 賢一 記述者 職名：主幹教諭，教務主任 進藤雅一

◇ 本年度の竜王小学校教育目標

「明るく元気な竜の子」の育成

- 具体目標
 - ・た 助け合う子ども（情）
 - ・の 伸びゆく体の子ども（体）
 - ・つ 強い心を持った子ども（意）
 - ・こ 根気強く学ぶ子ども（知）

○ 学校経営方針

- 1 教職員の英知と輪を結集し，学校教育目標の具現化に努める。
- 2 児童一人ひとりの自己実現を目指す学校づくりを推進する。
- 3 研修活動を活性化し，自ら学ぶ授業づくりを推進する。
- 4 特色ある学校づくりに努める。
- 5 安全・安心な学校づくりに努める。



I 平成27年度 甲斐市立竜王小学校「学校評価（前期・後期）」の経過

前期計画			
日時		実施内容	備考
6月1日	(月)	・各クラスへ自己評価及び児童用アンケート配布	・朝礼にて連絡 ・自己評価及び児童用アンケート配布
6月1日	(月)	・前期自己評価実施開始 ・児童用アンケート実施開始	
6月5日	(金)	・前期教職員自己評価実施	・自己評価→終礼時に一斉に実施 ・児童アンケート→主幹の机に提出 *シートの回答者欄は必ず確認
6月5日	(金)	・児童用アンケート回収完了	
6月8日	(月)	・前期自己評価送付 ・児童アンケート送付	・教育総務課集配→委託業者
7月14日	(火)	・自己評価書作成完了（主幹）	・完成した評価を校長・教頭へ提出（監査を受ける）
7月17日	(金)	・学校関係者評価委員会開催 15：30 理科室にて	・出席者：学校関係者評価員・校長・教頭・主幹・生徒指導主任
7月22日	(火)	・学校関係者評価書作成完了（主幹）	・完成した評価を校長・教頭へ提出（監査を受ける）
7月23日	(木)	・自己評価書・学校関係者評価書 校内報告	・終礼の中で報告
7月30日	(木)	・自己評価書+学校関係者評価書 提出	・市教委提出
8月下旬	()	・自己評価書+学校関係者評価書 HP公表（市教委確認後）	・ホームページへ公表（担当）
8月27日	(木)	・定例教育委員会への報告	
後期計画			
日時		実施内容	備考
11月下旬		・後期自己評価実施開始 ・児童用、保護者用アンケート実施開始	
12月中旬		・後期自己評価送付 ・児童、保護者アンケート送付	・教育総務課集配→委託業者
1月上旬		・集計結果の受理	
1月下旬		・自己評価書作成完了（主幹）	・完成した評価を校長・教頭へ提出（監査を受ける）
2月4日	(木)	・学校関係者評価委員会開催 15：30 理科室にて	・出席者：学校関係者評価員・校長・教頭・主幹・生徒指導主任
2月上旬		・学校関係者評価書作成完了（主幹）	・完成した評価を校長・教頭へ提出（監査を受ける）
2月8日	(月)	・自己評価書・学校関係者評価書 校内報告	・職員会議の中で報告
2月中旬～下旬		・自己評価書+学校関係者評価書 提出	・市教委提出
		・自己評価書+学校関係者評価書 HP公表（市教委確認後）	・ホームページへ公表（担当）
2月下旬		・来年度グランドデザインの作成	
3月中旬		・来年度グランドデザインのホームページ 公表 ・保護者、地域への結果の公表	・ホームページへ公表（担当）
3月下旬		・定例教育委員会への報告	

II 全体評価

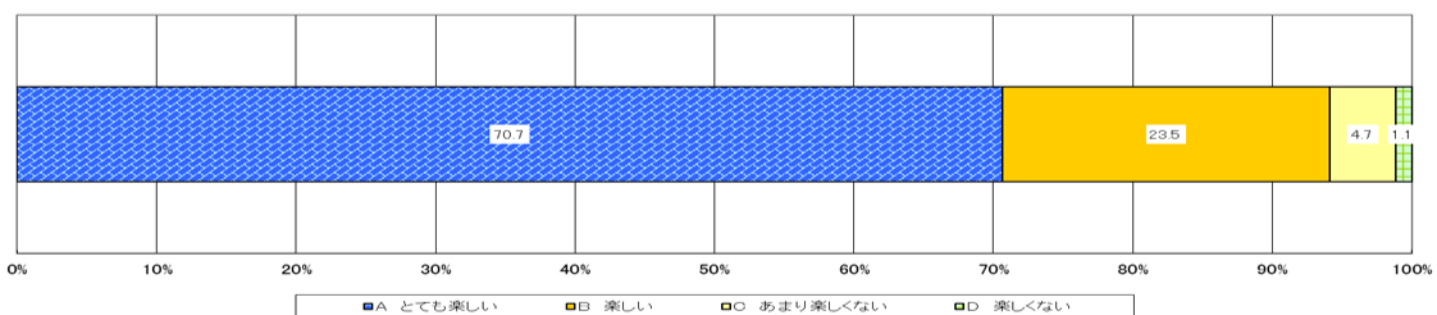
平成27年度前期の学校評価をアンケート形式で行った。教職員の自己評価については、全6観点としてI「学校教育目標に関して・学校経営について」II「学校運営について」III「学習指導について」IV「生徒指導について」V「地域との連携について」VI「学校の特色に関して」について、実施した。それぞれについては、評価項目を4段階として（A：そう思う、B：ややそう思う、C：ややそう思わない、D：思わない）を設定した。質問事項に関しては昨年度同様のものが多いこともあり、昨年度の結果との比較や児童アンケートの結果を踏まえながら検討を行った。

全体としての傾向は、全ての調査項目について（A：そう思う+B：ややそう思う）が90%以上の高い値を示している。昨年度の前期調査では、7項目ほどが90%以下を示していたが、大きな成果が出てきたことを表している。校長による今年度の学校経営方針が職員の中に浸透したこと、「チームドラゴン2015」としてそれぞれの職員が協力姿勢をもって1学期活動できたこと、「明るく元気な竜の子15箇条」をもとに安定した学校生活を行う指導や学習規律の指導がより充実してきたことなどが要因として挙げられる。それぞれの学年や学級には様々な児童がいる中で、多くの先生が声を掛け合い、学校教育目標の具現化を図るべく日々努力をしている。全てが順調に進んでいるという訳ではないが、着実に前進しつつあることが今回の調査から感じられた。

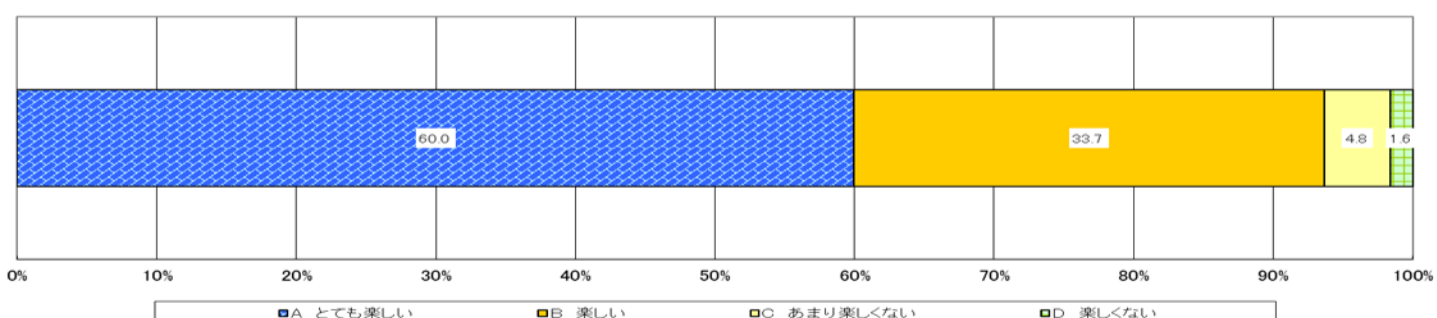
ただし肯定的な意見が多い中でも（A：そう思う）と（B：ややそう思う）の差が、調査項目によってばらつきがあることも分かった。III「学習指導について」は（B：ややそう思う）が30%程度、V「地域との連携について」は（A：そう思う）よりも（B：ややそう思う）の方が、割合が高い値を示している項目がある。今回の調査内容をより細かく深く分析していく中で、今後とも児童の健全なる育成のためにそれぞれの職員がこの能力を最大限生かし、より活気あふれる学校づくりに取り組んでいくことが臨まれる。

また、前期のアンケートは前学年の児童も行ったところ、「学校が楽しいですか」の項目で（A：そう思う）の評価で7%ほどの上昇が見られていて、毎日の生活が充実してきていることを表している。しかしながら、「学校の授業は楽しいですか」項目と比較すると（A：そう思う）が10%ほど下回る結果も見られ、より児童の満足度を上げる学習指導が今後とも臨まれる。

Q1 学校は楽しいですか。



Q5 学校の授業は楽しいですか。

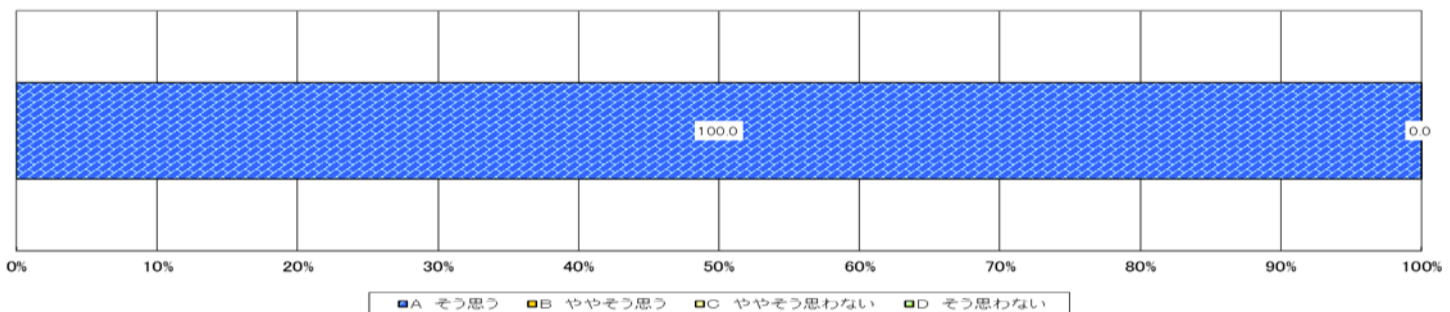


Ⅲ 各項目ごとの評価結果（達成状況，改善策）

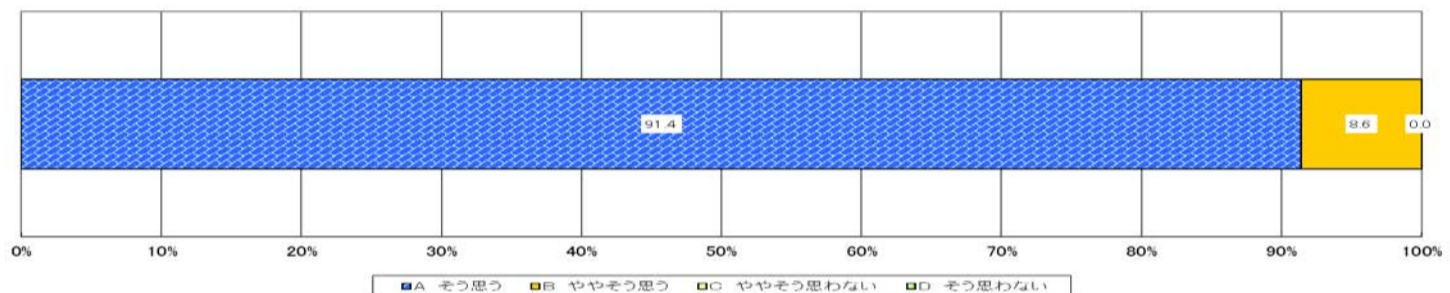
1 学校教育目標・学校経営について

「学校教育目標について・学校経営について」は、2項目を除いて（A：そう思う）＋（B：ややそう思う）が100%の結果となった。前述にあるように、それぞれの職員が校長より示された学校教育目標を意識し、学年や学級の経営や指導を心がけた結果だと思われる。また、「PDCAサイクルを生かした教育活動が行われているか」という項目は、（B：ややそう思う）の値が多くなってきているので、この1学期の実践をしっかりと反省した上で、2学期以降の教育活動に力を入れていきたいと感じた。

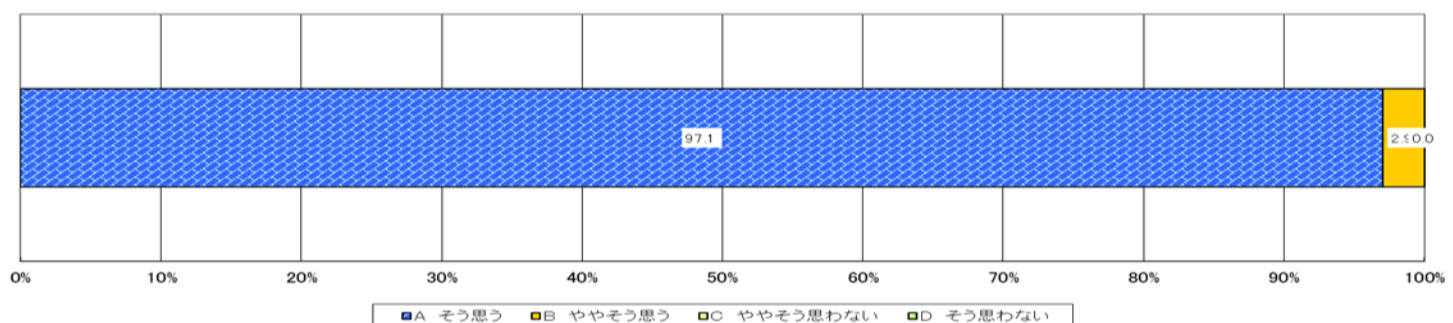
I-1 あなたの学校は、学校教育目標が、学校経営方針を踏まえたものになっている。



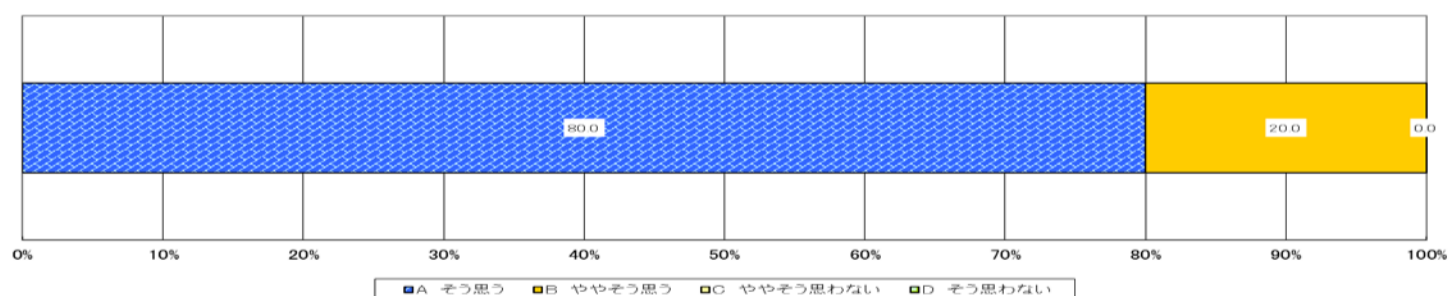
I-2 あなたは、学校経営方針に基づき、教育活動を行っている。



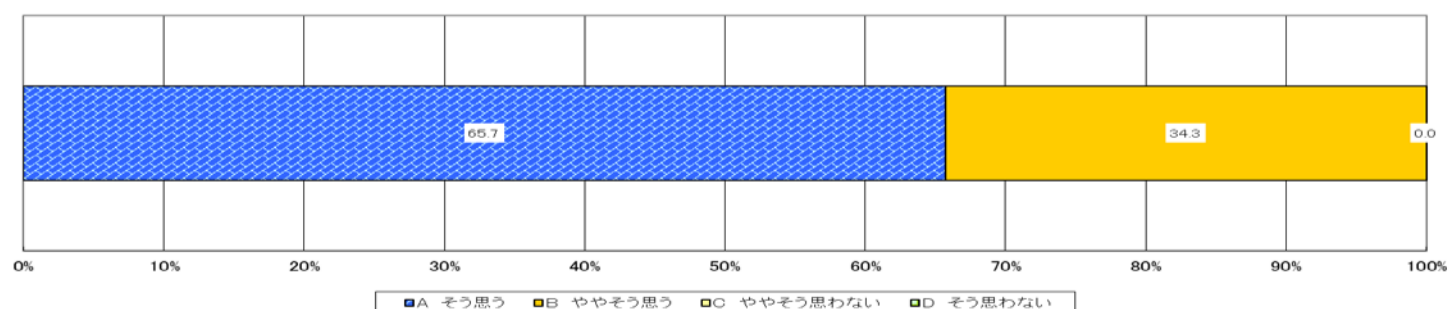
I-3 あなたの学校は、学年の教育活動計画が、教育目標や重点目標を踏まえたものになっている。



I-5 あなたの学校は、P→D→C→Aサイクルで、教育活動が取り組まれている。



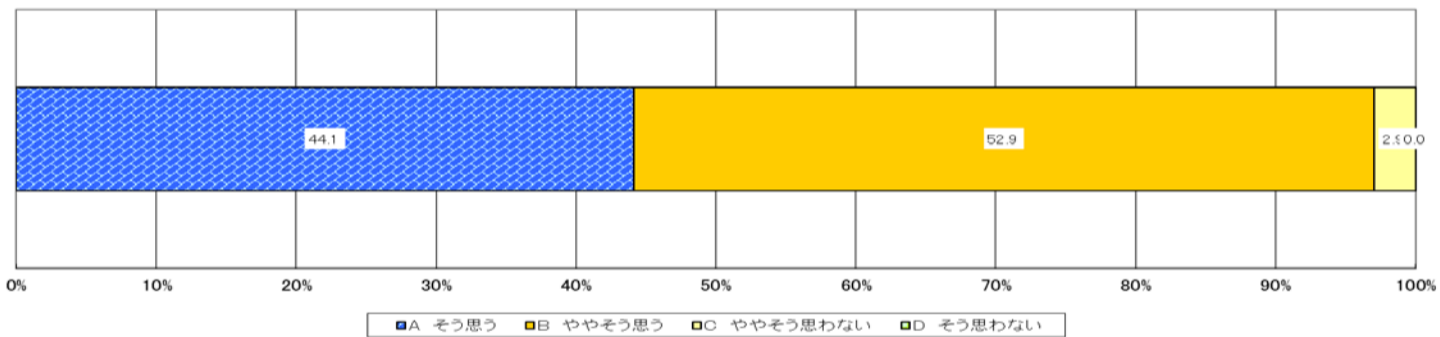
I-6 あなたは、P→D→C→Aサイクルを生かした教育活動を行っている。



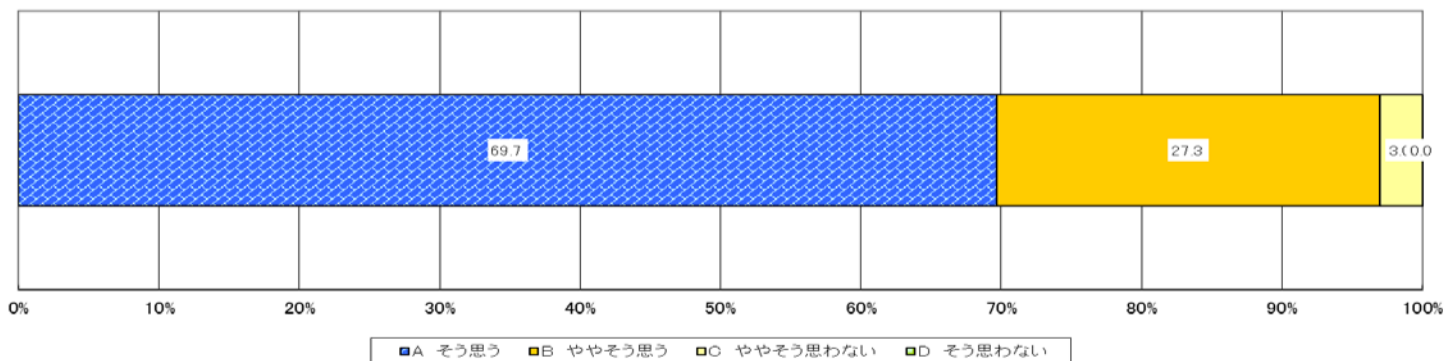
課題としては、昨年度の課題としても取り上げられた「職場の福利厚生や健康管理についての配慮がなされている」の項目が挙げられる。(A：そう思う)よりも(B：ややそう思う)の項目が上回っていること、否定的な意見も出ている。課題の一つとして改善が見られてるが、否定的な意見がなくなる現状である。要因の一つとして職場の多忙化が挙げられる。学習指導の準備はもちろん、様々な児童への対応、保護者への対応、教職員評価、分掌による計画の立案など、多くの校務に職員が日々向かって努力している。加配教員や支援員などの協力体制を取りながらも、まだまだ職員一人の負担の軽減までは進んでいない。できる限り業務の効率化を図り、今以上の職員の協力体制をしき、時間外勤務の解消を積極的に行っていくよう努めていく。また、教職員のメンタルヘルスの観点からも、ストレスや疲労が重ならないよう、職員間で声を掛け合うなどの取り組みをこれからも続けていくことが必要である。

もう一つの課題としては、「特別支援教育の体制が整い、機能的に行われている」の項目である。(A：そう思う)値は高いものの、(C：ややそう思わない)と感じている職員もいるからだ。特別支援学級ではそれぞれの児童に対してその児童に合わせたゆとりある対応の時間の確保が難しい上に、特別支援学級に在籍していない児童の取り出しも行っているため、担任の負担がとても多い。一方、交流学級での授業において特別支援在籍児の支援が全てに行き渡らないことも原因として考えられる。今後も加配職員や支援員のサポートも活用しながら、全校体制で多くの職員が指導にあたっていき、指導時間の配分などを精査しながら、担任の負担減につながるよう努力していきたい。

I-7 あなたの学校は、職場の福利厚生や健康管理について配慮がなされている。



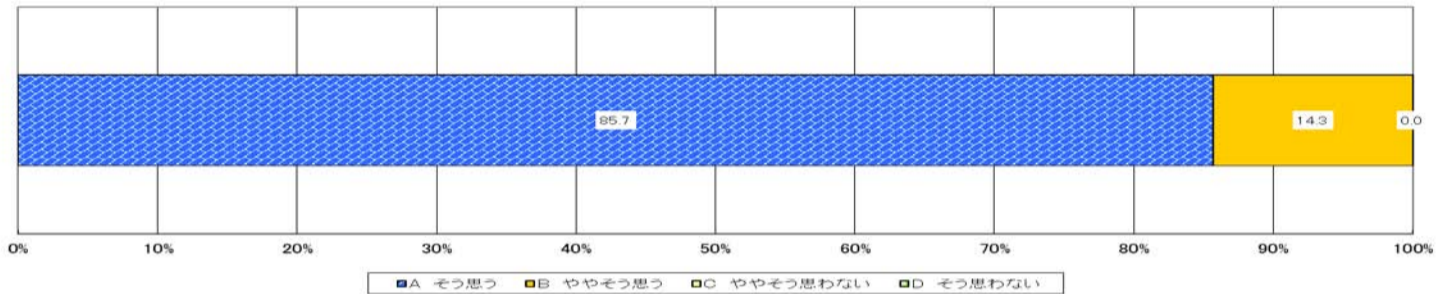
I-8 あなたの学校は、特別支援教育の体制が整い、機能的に行われている。



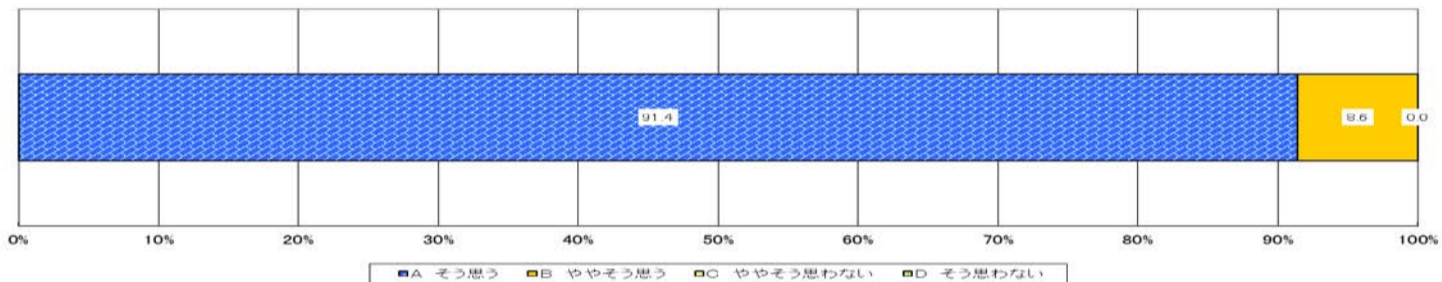
2 学校運営について

「学校運営について」は、1項目を除いて（A：そう思う）＋（B：ややそう思う）が100%の値を示している。これは、昨年度とほぼ同様の値であった。1学期の学校運営を振り返って円滑な運営が行われてきていることを表していると思われる。それぞれの職員が校務分掌にのっとり、職員会議や校内研究などに積極的に関わっていることが感じられる。また、「報告、連絡、相談、確認」の項目も高い値であり、様々な対応が素早く適切に行われていることが分かる。職員間での信頼関係も高く、相互に連絡を密にとって学校運営に携わっている職員の努力が強く感じられた。

II-6 あなたは、他の教職員と相互理解や信頼関係を深めて、教育活動にあたっている。

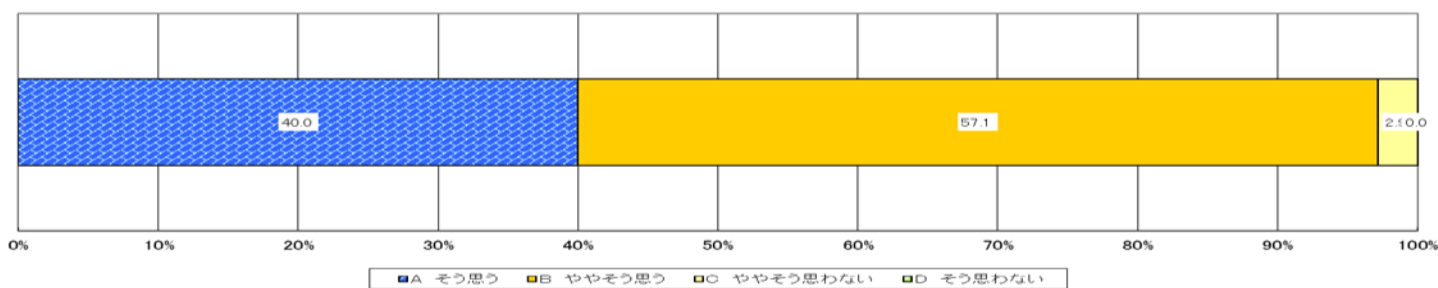


II-7 あなたは、職務上「報告、連絡、相談、確認」を行っている。



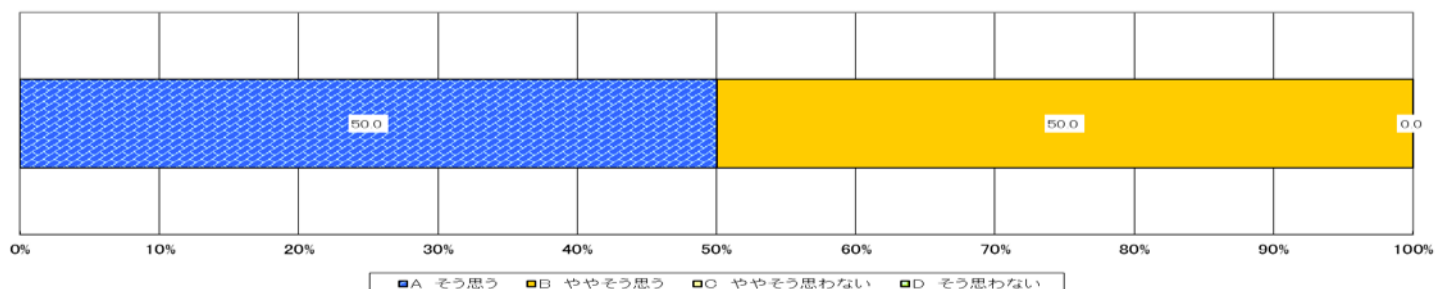
課題として取り上げるとすると、「危機管理マニュアルを理解しているか」という項目が挙げられる。（A：そう思う）の評価よりも（B：ややそう思う）の方が高い値であると同時に、（C：ややそう思わない）を示している職員もいた。昨年度も前期の学校評価では、（A：そう思う）と（B：ややそう思う）がそれぞれ50%の値を示していることから、今一度危機管理マニュアル確認を徹底していく必要がある。会議を重ねていくことや学校のしくみを職員が熟知していくことで少しずつ改善できることではあるが、いつ何時どんなことが児童の身に起こるかは誰にも分からない。児童の安全を最優先に考えるよう、一刻も早い確認が必要となる。

II-2 あなたは、危機管理(防犯、防災、事件、事故等)マニュアルを理解している。



前年度との比較(上位が今年度, 下位が昨年)

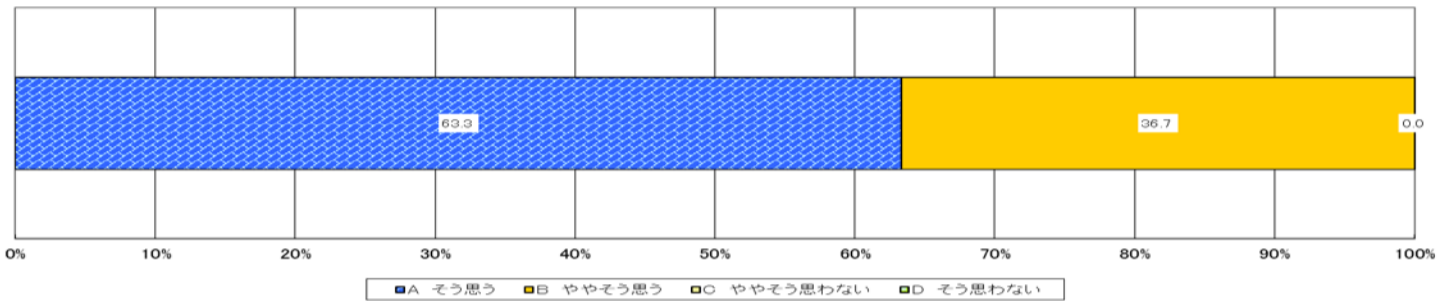
II-2 あなたは、危機管理(防犯、防災、事件、事故等)マニュアルを理解している。



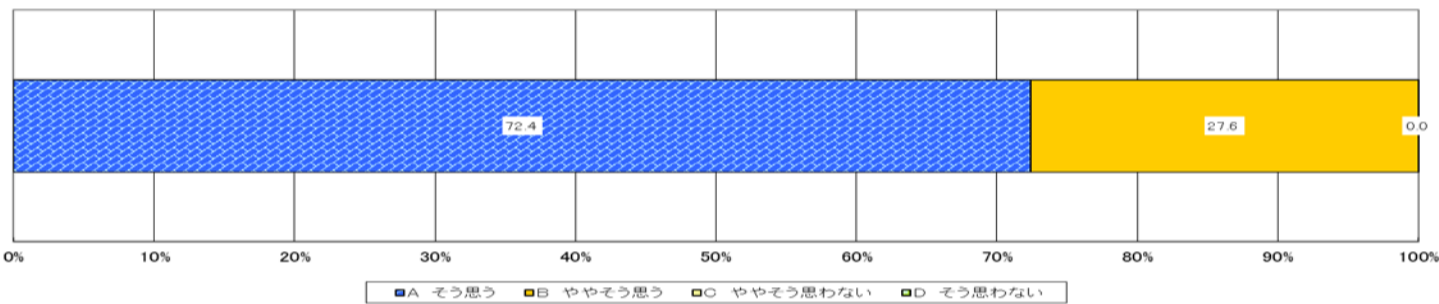
3 学習指導について

「学習指導について」は、2項目を除いて（A：そう思う）＋（B：ややそう思う）の値が100%を示している、おおむね満足な取り組みが行われていることを示している。児童のアンケートの「先生はよく勉強を教えてくださいか」という項目では（A：そう思う）85.8%＋（B：ややそう思う）11.4%＝97.2%もの児童が授業での指導に肯定的な意見を述べていると同時に、昨年度の値（A：そう思う）＋（B：ややそう思う）90.0%より7%以上の伸びを示した。日頃の職員の教材研究と指導力の向上が表れ、大変うれしく感じる。今後とも「子どもの意欲を喚起する授業の創造」を目指し、さらなる努力を重ねていきたい。

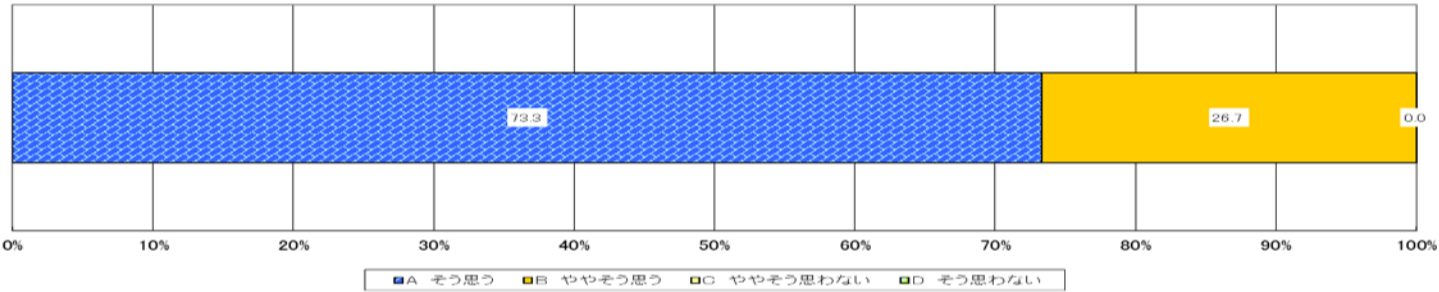
Ⅲ-1 あなたは、民主的で規律ある学級・学年・学校集団づくりを行っている。



Ⅲ-3 あなたは、基礎・基本の定着を図る授業を行っている。

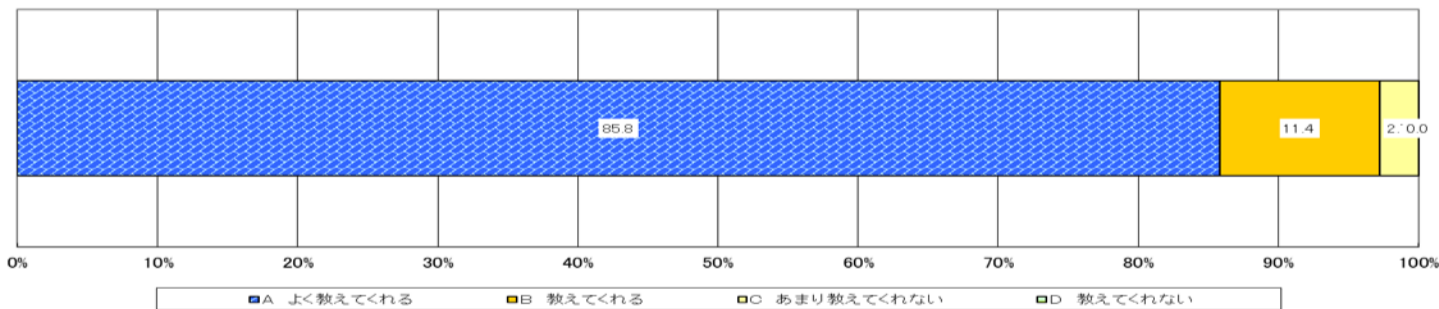


Ⅲ-6 あなたは、教材教具や備品等を活用した授業を行っている。



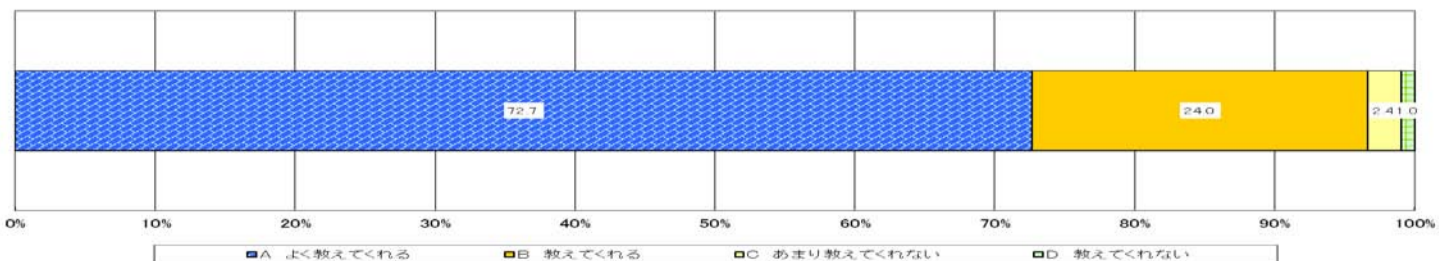
※児童アンケートより

Q6 先生はよく勉強を教えてくださいか。



前年度との比較(上位が今年度, 下位が昨年)

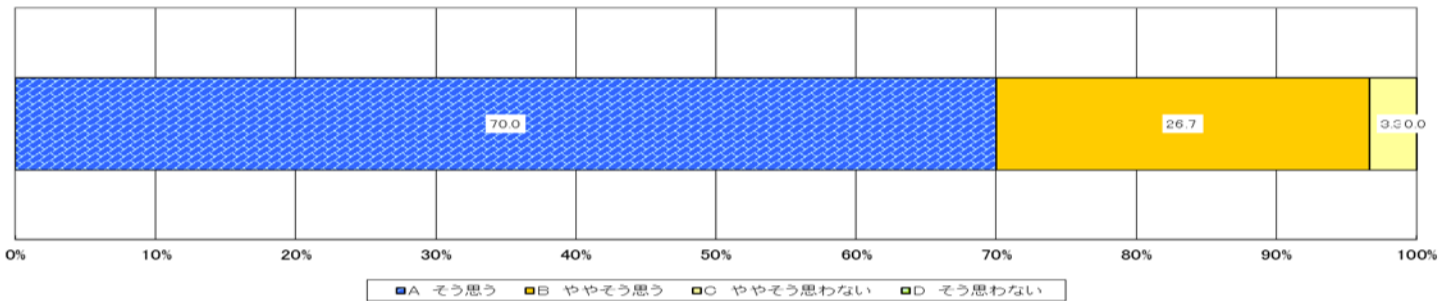
Q6 先生はよく勉強を教えてくださいか。



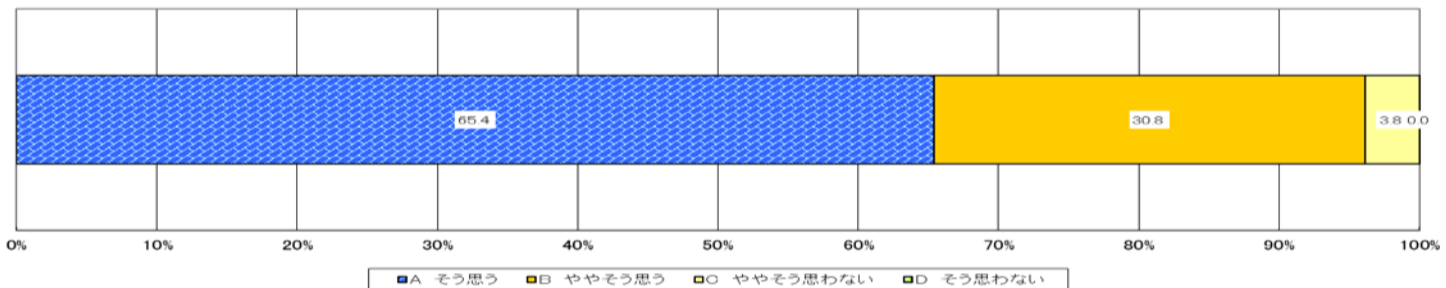
課題として取り上げる項目としては、「個に配慮した授業を行っている」「宿題や家庭学習に対する指導を行っている」の二つで（C：ややそう思わない）結果が出たことであろう。前述の課題でも取り上げているように、学校では様々な児童と向き合っており、一人ずつの指導や対応にゆとりがないという課題を抱えている。多くの職員が児童に関わりながら、児童の学習のサポートができるよう今後とも配慮していきたい。

また、宿題や家庭学習に対する指導については、根気強く声をかけ指導していくことが大事である。昨年度同様に「家庭学習の手引き」を1学期に配布すると同時に、懇談会を利用して保護者へも直接呼びかけていく機会を設けた。児童が達成感を感じ取れるよう、家庭とより声を掛け合っ指導を充実させていくことが大事となってくるものと思われる。今年度より、夏休みに補習を行うことにしているので、その成果が今後の評価に期待されることである。

III-4 あなたは、個に配慮した授業を行っている。



III-8 あなたは、宿題や家庭学習に対する指導を行っている。



※ 1学期に各家庭に配布した「家庭学習の手引き」

家庭学習の手引き（保護者の皆様へ）

本校では、子どもたちの学力向上に向けて、職員一丸となって取り組んでいます。今年度も、保護者の皆様のお力添えをさらにいただき、家庭学習にも力を入れていきたいと思っております。家庭学習は、①学習内容を定着させる、②家庭でも学習する習慣を身につける、の2つを大きな目的としています。ご理解とご協力をお願いします。

家庭学習の目標

まずは、**毎日の宿題をしっかりとやること**が大切です。そして、中学年、高学年ではさらに予習・復習など自主学習にも取り組んでほしいと思っております。

◇ 主な内容と時間のめやす

学習時間の目標は「学年×10分+10分」以上です。

■ 低学年（1・2年生）

- ①宿題をしっかりとやる。
- ②できるだけ、教科書の音読やその他の本読みなどもにも取り組む。

家庭学習のめやす

- 20分～30分
- ①宿題（10分～20分くらゐ）
- ②読書（10分くらゐ）

■ 中学年（3・4年生）

- ①宿題をしっかりとやり、できるだけ自主学習もやる。
- ②読書にも取り組む。

家庭学習のめやす

- 40分～50分
- ①宿題と自主学習（20～30分くらゐ）
- ②読書（20分くらゐ）

■ 高学年（5・6年生）

- ①宿題をしっかりとやるだけでなく、予習や復習などの自主学習にも継続して取り組む。
- ②読書にも継続して取り組む。

家庭学習のめやす

- 60分～70分
- ①宿題と自主学習（40～50分くらゐ）
- ②読書（20分くらゐ）

- * 家庭での勉強時間は、個人差があります。家庭学習の時間は目安です。お子さんの勉強の様子を見ながら、**その子にあった時間とやり方を見つけていくようにしましょう。**
- * 学校から出された宿題は、その日の学習の押さえとして、各担任が絶対必要と考えているものです。**まず宿題から取り組むようにしてください。**
- * 「読むこと」が全てのもとになります。読めなければ、そこに何が書いてあるのかわかりません。そして、「読むこと」の基本が音読（声に出して読む）です。まず、四角の教科書を大きな声ですらすら読めるように取り組んでほしいと思っております。それができるようになったら、他の本も読めるようになりますようにしましょう。
- * お子さんの**宿題や家庭学習ノートに目を通し、ぜひ励ましの言葉やサインをお願いします。**意欲向上につながります。

◇ 家庭学習のポイント

- <勉強を始める前に>
 - ①テレビやゲームを消す。
 - ②机の上をきれいにする。
 - ③よい姿勢で行う。
- <勉強が終わったら、おうちの人は>
 - ①勉強したことを見てあげる。（頑張りを認める。）
 - ②次の日の準備がしっかりとできているか確認する。

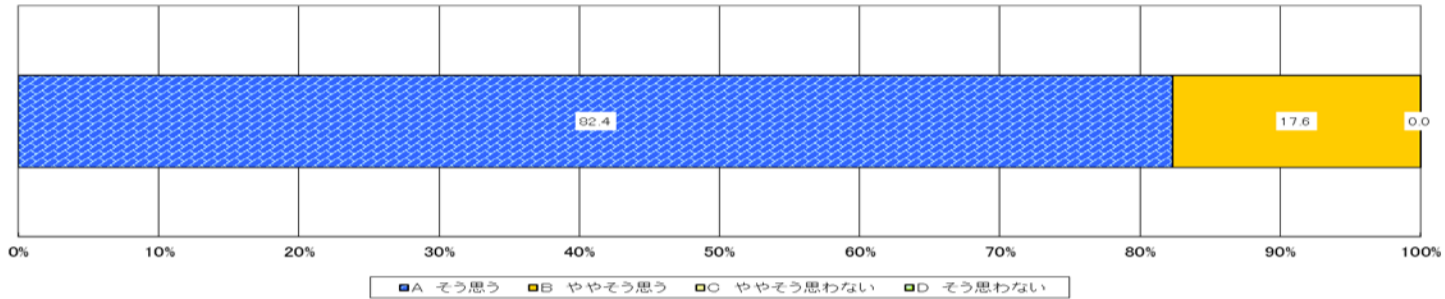
- * 毎日の規則正しい生活が子どもたちの学力を育てます。「早寝」「早起き」「朝ごはん」の取り組みをよろしくお願ひします。
- * やらないことをしるよりも、がんばったことをほめてあげてください。
- * お子さんを励まし、家庭学習をねばり強く支えてあげてください。

お子さんの家庭学習をねばり強く支えています。家庭学習のさせ方等、困っていることや相談したいことがある場合は、遠慮なさらず担任に連絡してください。

4 生徒指導について

「生徒指導について」は、全ての項目で（A：そう思う）＋（B：ややそう思う）が100%の高い値を示した。昨年度も組織だった指導がなされていたことが成果となって表れているように感じる。「学校運営について」でも挙げたように校長を中心に、「報告、連絡、相談、確認」が速やかに行われ、職員間でのコミュニケーションがより密に行われている証である。一人で問題を抱え込まないことが問題解決の手段だけでなく、メンタルヘルスの面でも有効であることから、今後とも多くの情報を生徒指導委員会や校内支援委員会などで共有し、全校体制で児童の指導にあたっていきたい。そして、児童と何でも相談できる信頼関係を職員が構築していくことで、いじめや不登校など児童の様々な問題にも速やかに対応しいける学校づくりをしていきたい。

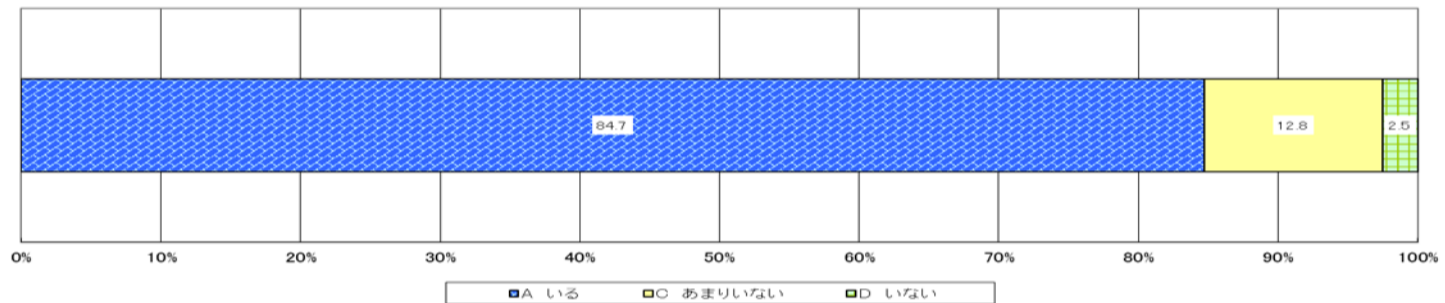
IV-1 あなたは、児童生徒理解のためにコミュニケーションを図っている。(対:児童生徒)



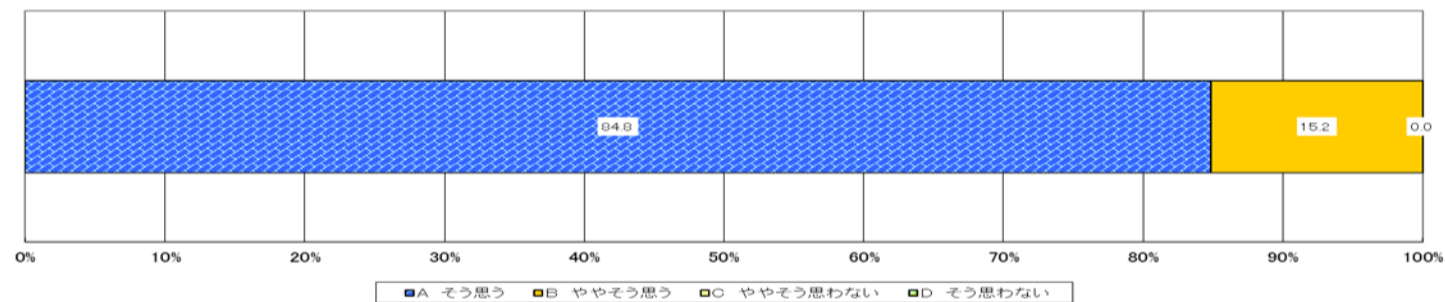
※児童アンケートより



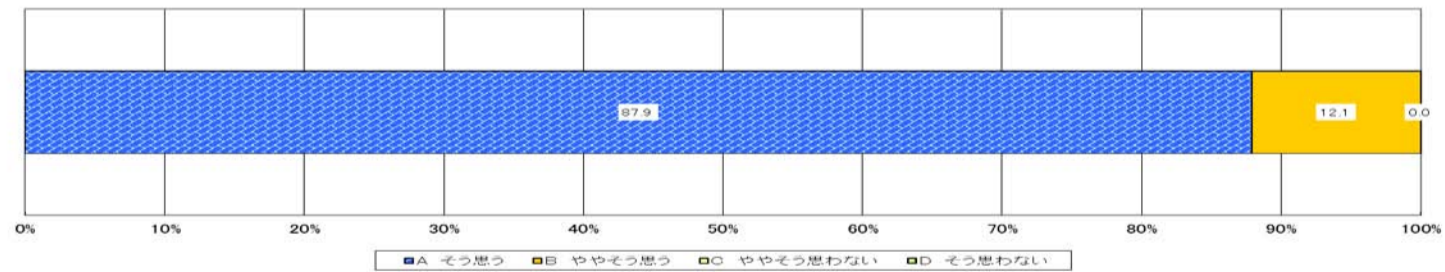
Q10 こまったことがあったら、相談できる先生がいますか。



IV-2 あなたは、児童生徒の規範意識をはぐむ指導に取り組んでいる。

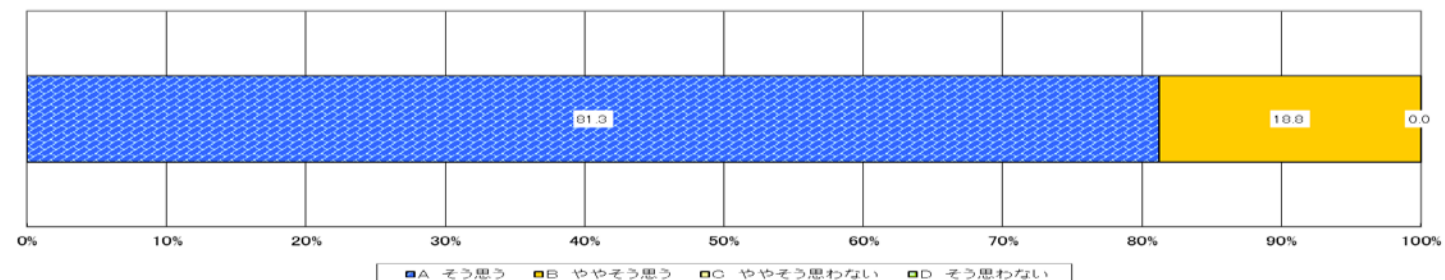


IV-5 あなたの学校は、職員間で生徒指導上の課題を共有した対応が行われている。



前年度との比較(上位が今年度, 下位が昨年)

IV-5 あなたの学校は、職員間で生徒指導上の課題を共有した対応が行われている。

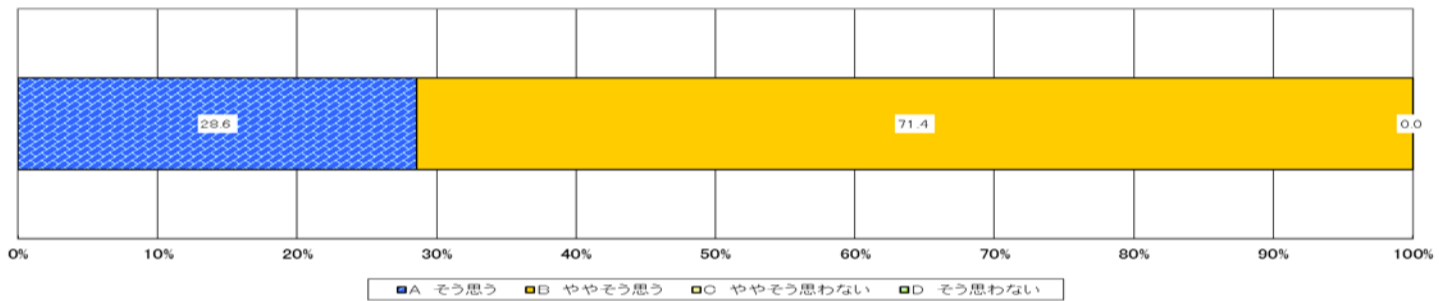


課題点としては、「生き方教育（キャリア教育）を児童生徒の実態に応じて行っている」項目で、（B：ややそう思う）の評価が71.4%となっている点である。小学校においては、児童の発達段階に応じて各教科、道徳、特別活動、学校行事、常時活動など様々な場面で指導が可能であるが故に、年間計画などの位置づけが確認できていなかったためと考えられる。今一度、本校の教育課程を確認すると共に、キャリア教育の視点での指導をより意識づけられていけるよう徹底をしていきたい。

また、常時取り組んでいる清掃活動などでは児童のアンケートより、（A：そう思う）+（B：ややそう思う）の肯定的な意見が95%を超えてはいるが、（C：ややそう思わない）+（D：そう思わない）児童も4.5%の20名ほどができていない現状がある。多くの仲間とふれあいながら、仲間と共に共有した活動などを日々積み重ねていくことで、師弟同業で協働の気持ちをより高めていく指導を今後とも続けていきたい。

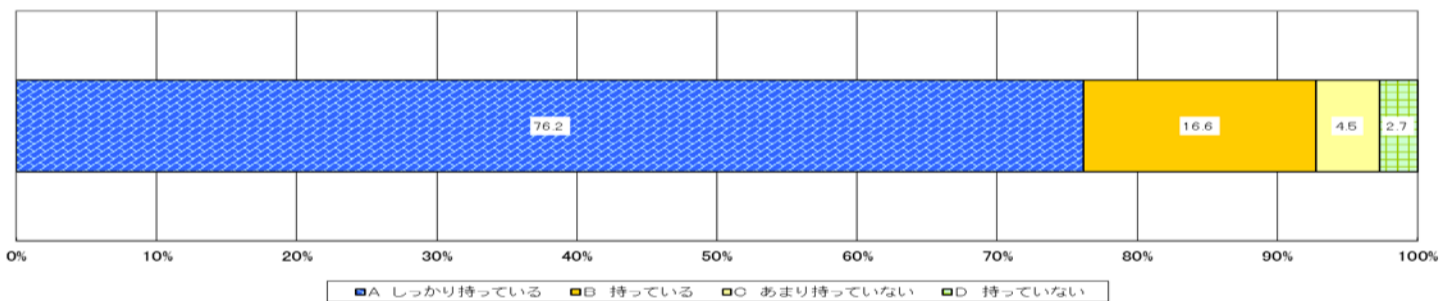
そして、成果として挙げた点であると同時にまだまだ深く考えていく必要がある項目にも着目した。それは「こまった時に相談できる先生がいない」という児童の評価が2.5%11名いるという点である。昨年度の同じ評価は4.6%19名からは減少していることはあるものの、さらに信頼される教師でいられるよ子どもの心をしっかりとつかんでいきたい。

IV-3 あなたは、生き方教育（キャリア教育・進路指導など）を児童生徒の実態に応じて行っている。

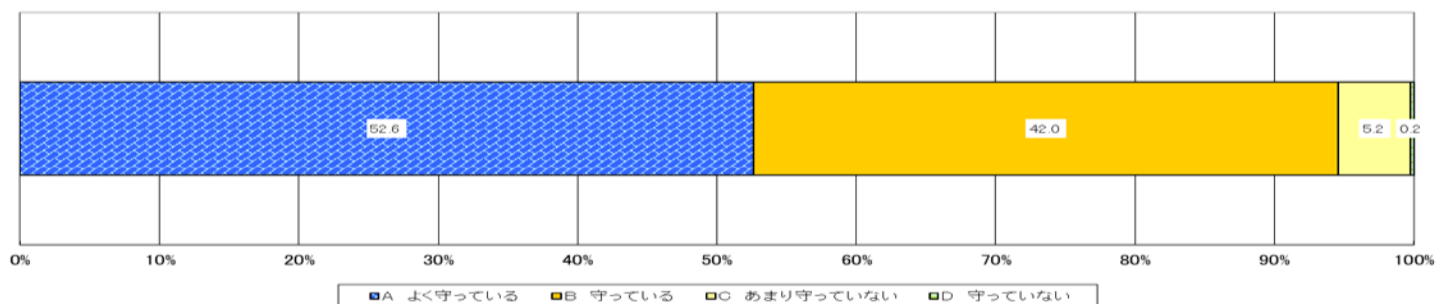


※児童のアンケートより

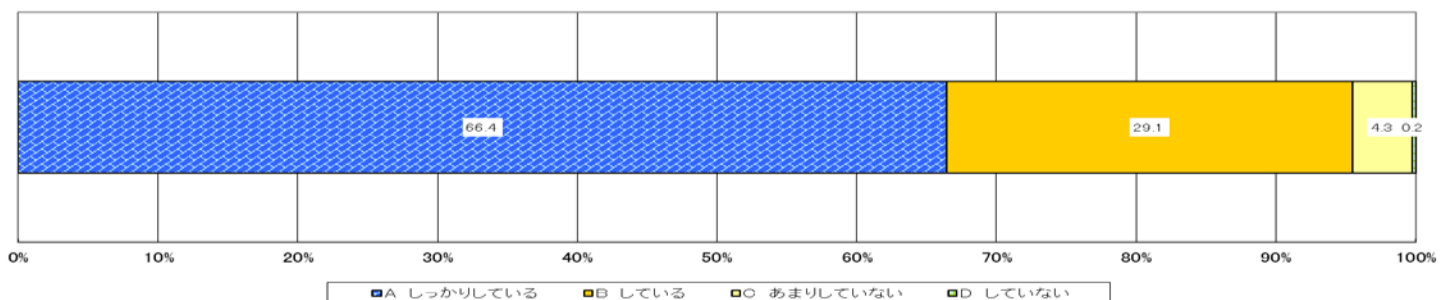
Q20 将来の夢や希望を持っていますか。



Q21 学校のきまりや約束ごとを守っていますか。



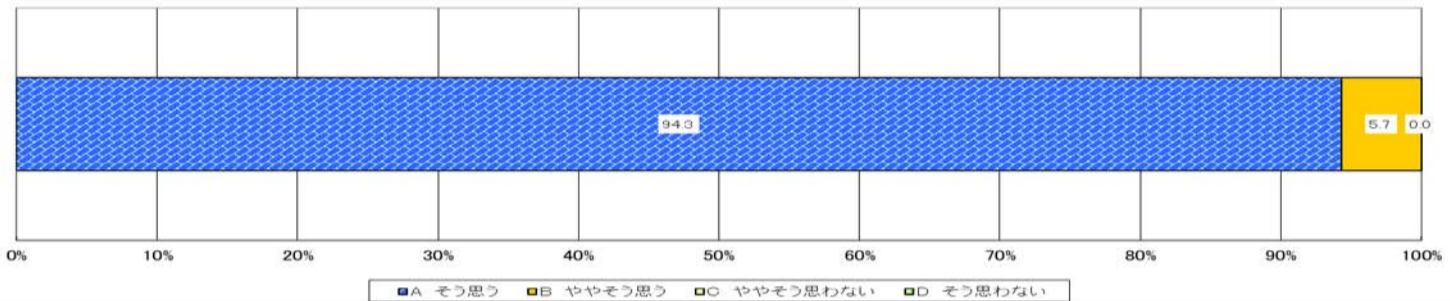
Q22 清そう活動をしっかりしていますか。



5 地域との連携について

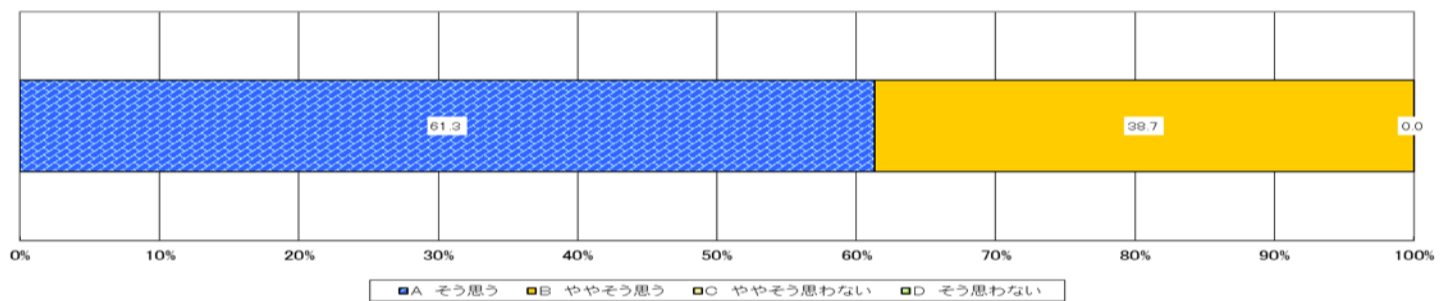
「地域との連携について」は、学校の教育活動をたよりやホームページを通して発信している面は、とても高い値を示した。（A：そう思う 94.3%）ほぼ毎日ホームページをアップしたり、修学旅行・林間学校でもICT機器を活用してタイムリーな情報を保護者や地域に公開したりと、積極的な活動が肯定的な意見の要因と思われる。今年度は「甲斐っ子安心メール」の加入率も積極的な呼びかけにより、向上したことも良い点として挙げられる。

V-3 あなたの学校は、学校の教育活動について、たよりやホームページを通して保護者や地域に広報している。

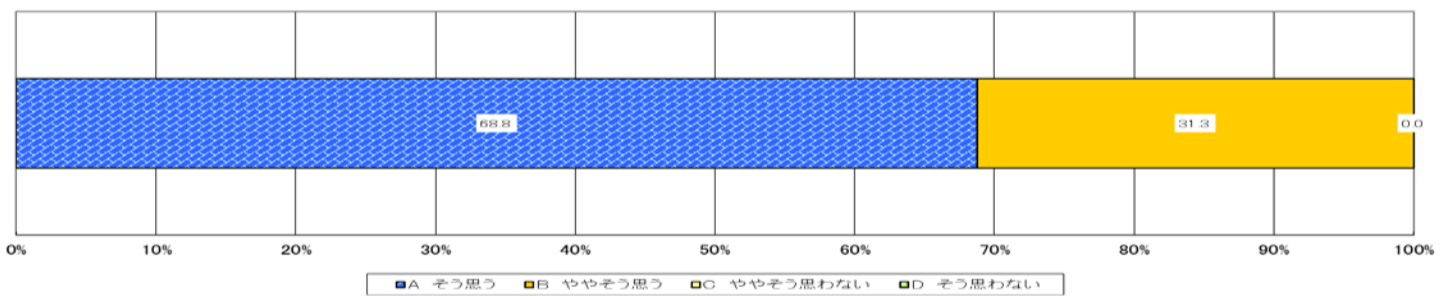


また、昨年度否定的な意見が10%ほど出て課題の一つとして挙がっていた「PTA活動」であるが、今年度は否定的な意見が出なかった。すでにいろいろな話し合いに職員が参加すると同時に、「竜小祭り」への参加など、より交流ができていたことが要因と思われる。今後とも（A：そう思う）の評価が多くなるよう努力していきたい。

V-4 あなたは、PTA活動に主体的に参加している。

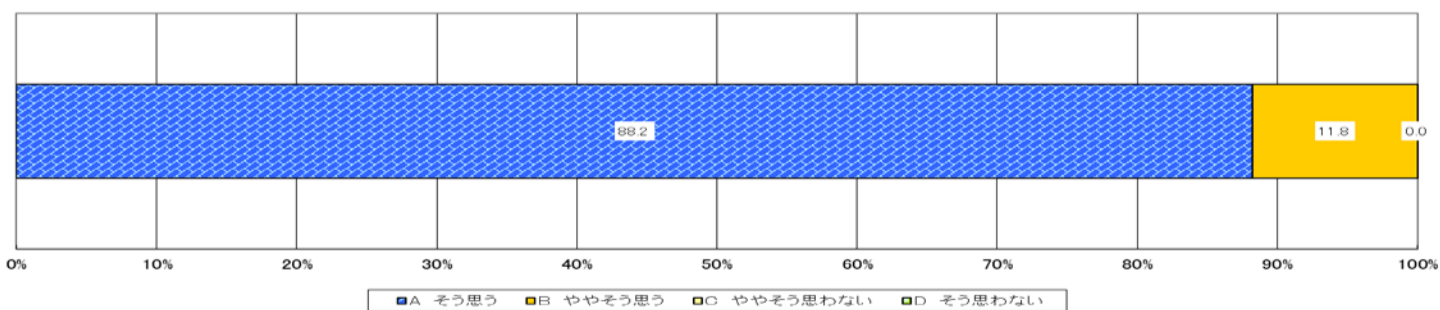


V-5 保護者は、PTA活動に協力的である。



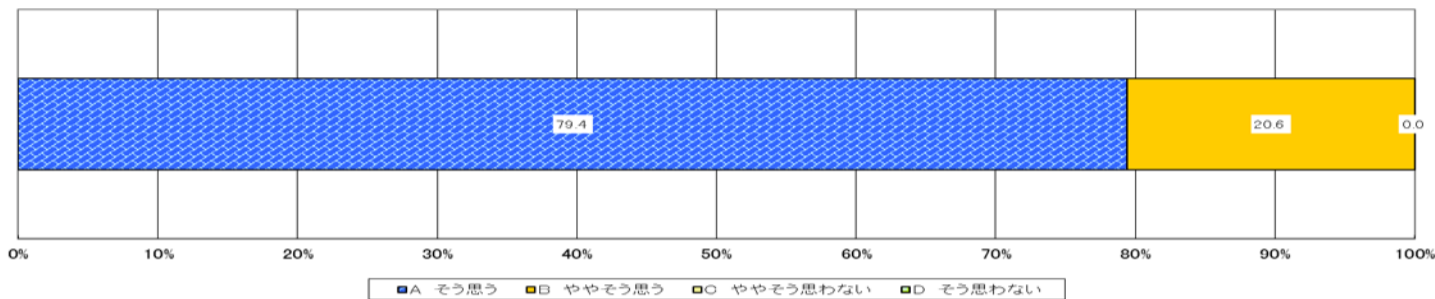
「児童の安全確保」という面では、見守り隊の方を中心として下校時の指導などを積極的に行っていただいていることに感謝している。竜王小学区では主要道路に近いこともあり車の交通量が多い点からも、地域の方々の取り組みを今後もお願いしたい。

V-6 地域・保護者は、児童生徒の安全確保に努めている。

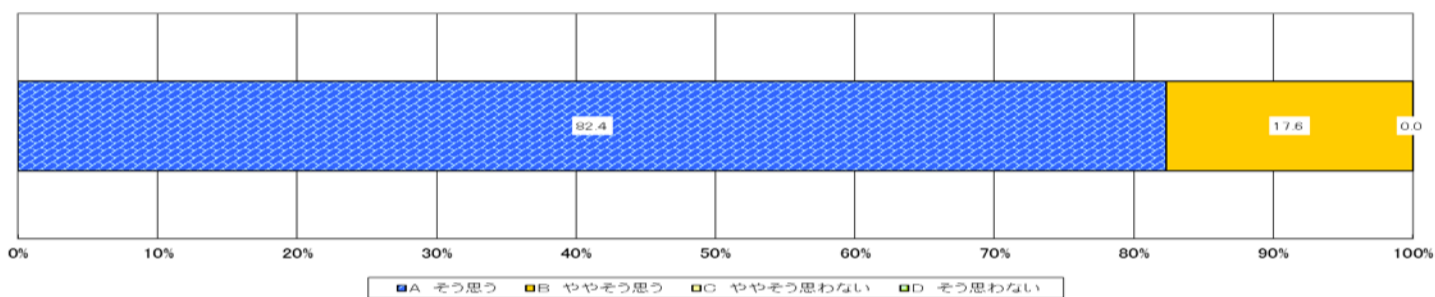


そして、「学校評議員制度や学校関係者評価委員会の話し合い」や本校独自で続けている「協力者会議の開催」については（A：そう思う）＋（B：ややそう思う）の肯定的な意見が100%であった。それと同時に、A評価が80%程度と高い値となっている。地域の方々には忙しい時間を割いて来校いただき、いろいろな情報を提供して下さり、学校側として改善できたことが要因として考えられる。今後とも、多くの情報提供をしていただき、児童の健全なる育成ために生かしていきたいと考えている。

V-8 あなたの学校では、学校評議員制度や学校関係者評価委員会の話し合いの結果が学校教育に生かされている。

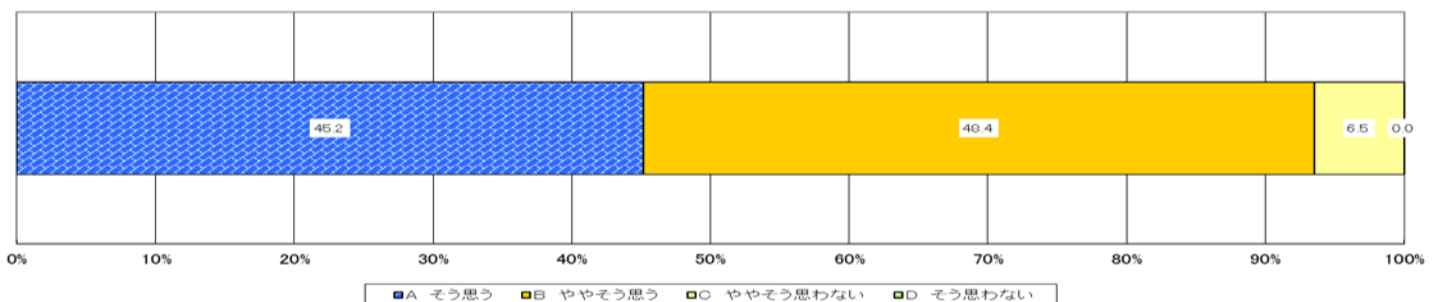


V-9 あなたの学校では、協力者会議を定期的に行い、学校教育への理解と地域教育の向上に努めている。

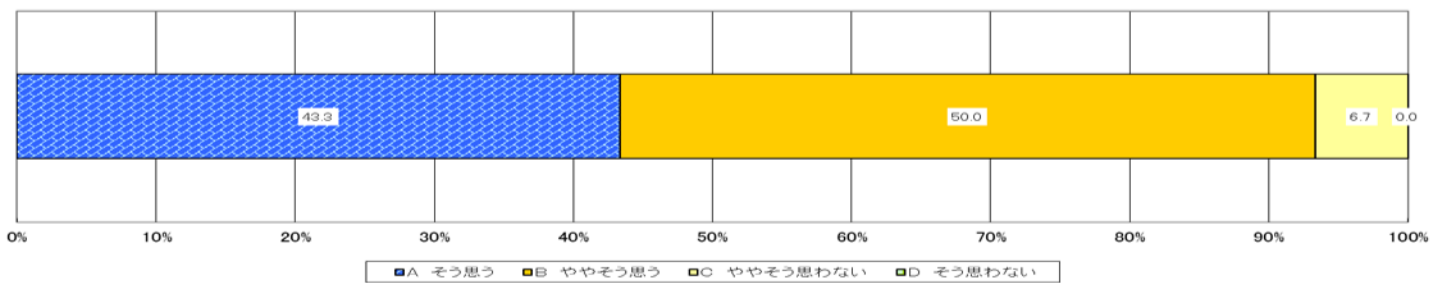


改善点として挙げられるのが、「地域の活用」と「要望の情報収集」という点だろう。二点の課題の共通点としては、職員自ら地域のいろいろな情報をまだまだ収集できていない点である。確かに年度が変わったことで地域のことを知る職員が少なくなったことや、毎日多忙の中でゆったり地域に目を向ける時間的な余裕がなかった点が要因ではなかろうか。もうすぐ夏季休業に入ることもあり、地域の人材や施設、教材の補助として活用可能なものを探る時間にもしていきたいと思う。

V-1 あなたは、教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っている。



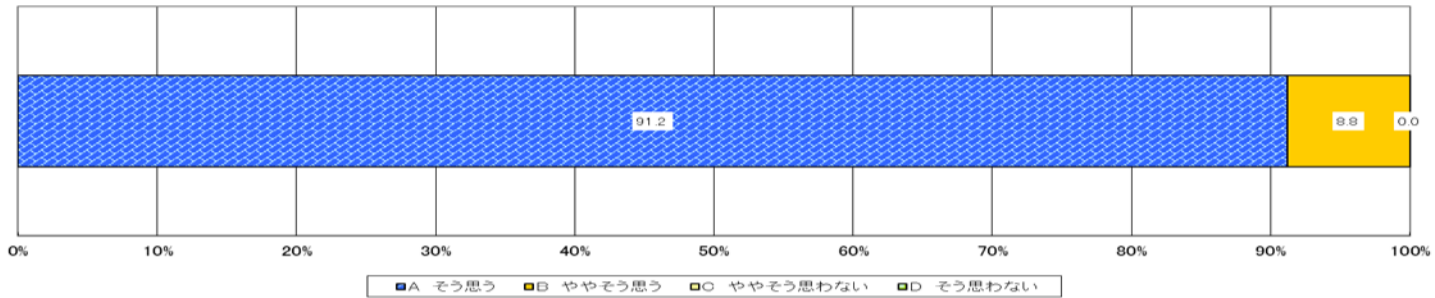
V-2 あなたは、保護者や地域の願いに応えるため、学校に対する要望等を聞くなどの機会を設け、情報収集を行っている。



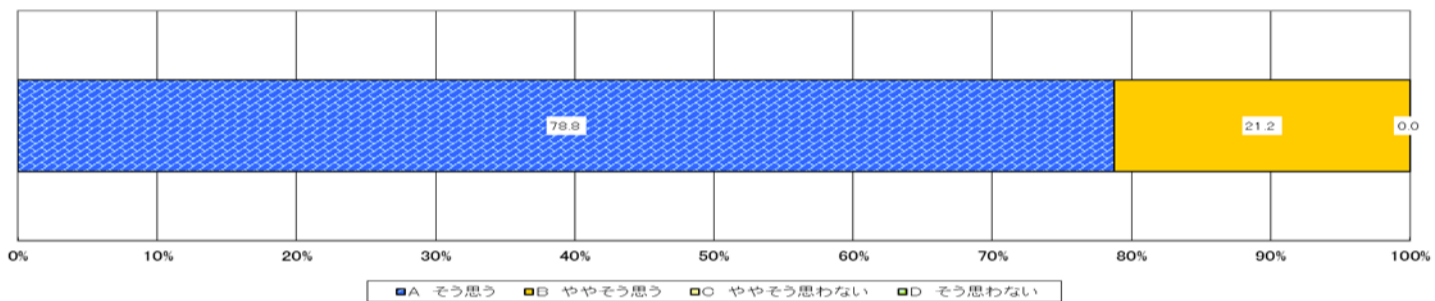
6 学校の特色に関して

「学校の特色に関して」では、1項目を除いて（A：そう思う）（B：ややそう思う）が100%と高い値を示した。その中でも、児童が活動している「あいさつ」「読書活動」「児童会活動」については、地域の方からもお褒めの言葉をいただくことも多く、竜王小学校の自慢できる点でもある。さらなる進歩ができるよう努力を重ねていきたい。

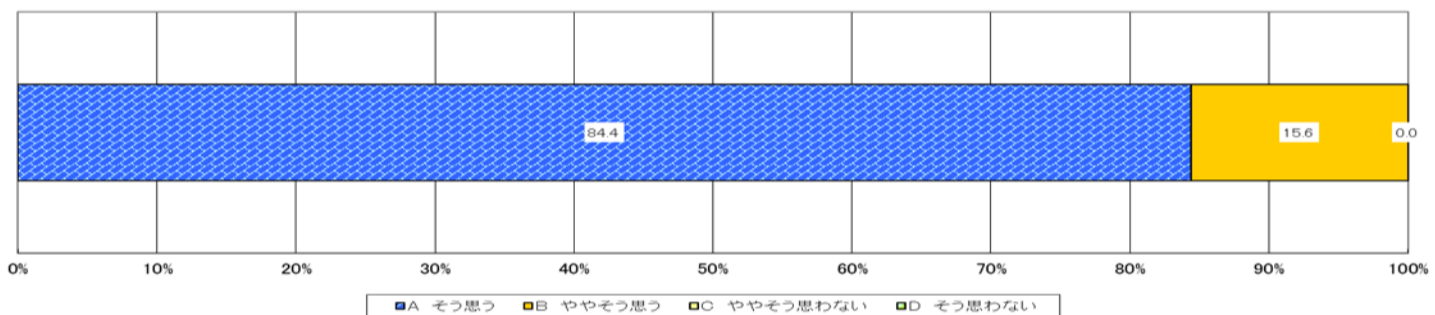
VI-1 児童生徒が進んで挨拶をするよう、指導に努めている。



VI-3 児童が積極的に「読書活動」に取り組むよう、指導に努めている。

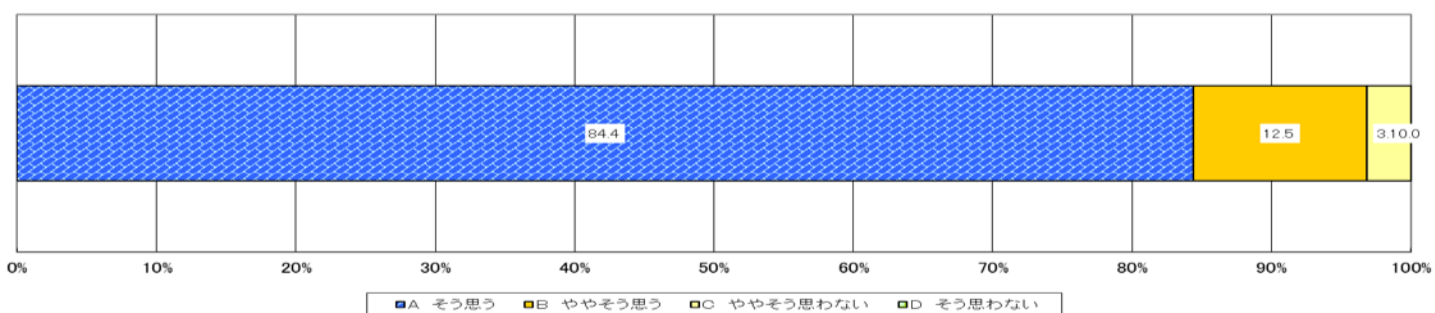


VI-4 「児童会行事」に、児童が進んで取り組むよう、指導に努めている。



課題点としては、「短縮日課など時間割を工夫する中で授業時数の確保に努めている」項目である。（A：そう思う）も84%以上の高い値は示しているものの、（C：ややそう思わない）評価を挙げている職員がいる現状である。職員の多忙化で放課後の会議などをできるだけ効率化していく中で、授業の担当時間などを考慮し、職員一人ずつに時間の余裕が生まれるような日課を今後とも考えながら改善をしていきたいと思う。

VI-5 短縮日課など、時間割を工夫する中で、授業時数の確保に努めている。



7 まとめ

<成果>

- ・評価項目と結果の分析から、これまでの教育活動における成果や今後の課題が見えてきた。各項目と児童アンケートを踏まえ、問題点を把握することができた。今後の学校経営や学校運営、教育活動の中で参考にしていきたい。
- ・組織としての力を発揮することが大事である。学校の職員で連絡を密にし、コミュニケーションを取りながら、共通理解のもと児童の指導にあたっている良さが見えた。今後とも「子どもたちのために」を合い言葉に、職員の英知を生かし教育活動を推進していきたい。
- ・今後も「報告・連絡・相談・確認」を徹底し、様々な事案に対して素早く対応していく。
- ・「学習指導」については、より楽しい授業を目指し今後とも努力を重ねていき、児童の学力の向上に役立てていきたい。日頃の授業にいろいろな工夫を取り入れ楽しい授業、分かりやすい授業を心がけていることが明確になったからこそ、より一層児童の学力向上へ向けて精進努力していく。
- ・「生徒指導」では生徒指導委員会や校内支援委員会などを活用することで、情報を共通理解し全校体制で児童の指導にあたっていく。
- ・ホームページなどを通して、学校での教育活動を多くの地域の方々に知っていただくよう、今後とも続けていく。
- ・児童会からの取り組みである「あいさつ運動」を行うことで、日々のあいさつが進んでできるようになり協力者会議の場でも地域の方にほめていただいた。今後とも地域の方とのコミュニケーションを図れるよう指導を重ねていく。

<課題>

- ・今回の結果をしっかりと受け止めることで、今後の学校経営や学校運営に反映していく。
- ・この調査結果を基に開かれる「学校関係者評価委員会」での客観的な意見を受け止めまとめていく。そしてその内容を全職員へ確実に伝えていき、学校経営や児童の指導へ還元していくように努める。
- ・職場の多忙化を改善し、余裕を持って児童に指導ができる体制を構築していくよう努力を重ねる。また、忙しさが増しより多くの問題を職員が抱え込むこともあるので、お互いに声を掛け合いながらお互いの健康管理にも目を向けていく。そしてメンタルヘルスの面でも十分に気をつけていく。
- ・「危機管理マニュアル」の理解を高めていくため、職員への指導を早急に行う。いろいろな場合を想定して職員がしっかり対応できるか「マニュアル」から再確認しておく。
- ・「学習指導」に関しては、学校だけでなく保護者の方にも協力いただけるよう「家庭学習の手引き」などをより活用し、効果的なコメント事例を紹介していく。
- ・多様な児童に対応できるだけの時間的、精神的ゆとりが持てるよう、学校全体を見つめて人的配置や活動時間の改善を図っていく。
- ・キャリア教育については、日常のあらゆる場面で生かして、指導につなげていく。
- ・地域の様々な情報に耳を傾け、教育活動に活用できる人材や施設など、長期休業などを利用し情報収集にあたる。